

ロボット競技会チャレンジコース

会場での安全管理マニュアル

2025年7月25日

特定非営利活動法人
Fukuoka Robotics Challenge

1) 緊急時の連絡体制

イベントの管理体制について

本イベントの管理体制は、運営責任者と現場責任者によって構成される。運営責任者は現場責任者の上位に位置し、イベント全体を統括する責任を負う。

教室の開催中は、運営責任者または現場責任者のいずれか1名が必ず現地に常駐する。もし現地に現場責任者のみが在席する場合には、運営責任者が遠隔で対応可能な体制をとる。

本コースでは本法人メンバーより運営責任者2名、現場責任者2名を任命している。

保護者との連絡について

常に保護者と連絡が取れるよう、参加生徒の保護者からイベント中に連絡が取れる電話番号やメールアドレス等を事前に収集する。

緊急時の対応フロー

生徒の軽度な体調不良時

定義: 意識が明確で、自力で歩行可能。擦り傷、軽い頭痛、腹痛など。

- 速やかに応急処置を行い、会場内の安静な場所で休ませる
- 現場責任者より保護者へ連絡。状況を説明し、迎えを依頼する
- 保護者の迎えが来るまでの間、状態の変化がないか観察する
- 現場責任者より運営責任者へ情報の共有を行う
- 保護者への引き渡し時に、状況を改めて説明し、帰宅させる

生徒の重度の体調不良・重大事故時

定義: 意識レベルの低下、呼吸困難、骨折の疑い、大出血など、明らかに専門的な医療を要する状態。

- 混乱を防ぐために、以下の役割分担を行い迅速に対処する

- 救護・通報: 現場責任者
- 保護者への連絡: 運営責任者
- 誘導: スタッフ
- 上記の分担をもとに下記フローで対応する
 - 速やかに応急処置を行い、119番通報を行う
 - 現場責任者は運営責任者へ連絡し、状況を正確に共有する
 - 現場責任者は状態の変化を常に観察する
 - 参加者が動揺しないよう、安全な場所へ誘導する
 - 運営責任者は保護者へ連絡し、事故の状況および搬送先等を伝える
 - 事案終了後、運営責任者より大学側に報告を行う

地震自然災害等発生時

- 自治体などの指示に従って避難を行う
- 保護者へ連絡を行い、帰宅させる
- 台風や大雨など、被害が予想される日はイベントを中止する

2) 安全対策

急な体調不良や事故の発生に備えて以下のような安全対策を徹底して行う。

- 怪我の事前防止
 - 足元の電源コード類はつまづかないよう養生を行う
 - 物品を不安定な場所に置かない・立てかけない
 - 生徒には会場は走らないように注意する
 - 会場に生徒のみの状況を作らない
- 熱中症防止
 - 事前に水筒やペットボトルの持参をよう保護者に伝達する
 - 随時水分補給して良い事を事前に伝えまた、適宜に水分補給を促す
 - 空調等を使用し、会場は適切な温度に保つ
- 感染症蔓延防止
 - 発熱や体調不良のある生徒は参加を認めない
- 暴力・性の被害や冤罪の防止
 - 密室で生徒と2人きりにならない